

## 【地域連携・業務改善プロジェクトチーム活動報告会を行いました！】

6月22日、「地域連携」と「業務改善」の2つのテーマを課題としたホスピタル坂東の多職種参加型院内プロジェクト（以下「PJ」）の活動報告会を行いました。当日は院長、看護部長、各看護師長にも参加いただき、約8ヶ月にわたり活動してきた内容について、各PJメンバーから報告を行いました。司会進行を務めた有村本部長からはKJ法を用いて2つのテーマを取り上げた背景や、ホスピタル坂東のSWOT分析なども振り返り、併せて会議の運営手法やマネジメントツールの重要性などを確認しました。メンバー同士でもPJ活動を通じて成果のでた項目や業務改善テーマを再確認し、今後の課題や全職員を巻き込むこと、継続して改善活動を行うことの重要性についてコメントがありました。また、適宜、意見交換やディスカッションの時間を設け、お互いの気づきなどについて議論を行いPJ活動の全体を振り返りました。

そしてホスピタル坂東が今後もより良い病院であり、働きやすい職場であるべく、このような改善活動やPJチーム活動の重要性を確認し合い、報告会は終了致しました。



【ディスカッションの様子】

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 多種多様な診療・身体合併症・リハ・救急→入院しやすい</li> <li>✓ 年齢を問わず受け入れられる</li> <li>✓ リスティング充実、人材育成</li> <li>✓ 療養の機会→変わる力</li> <li>✓ 夜間対応が可能</li> <li>✓ 関連法人にて老健や特養・在宅ケア等フルライン</li> <li>✓ 認知症やアルコールの取り組み</li> <li>✓ ベテラン職員</li> <li>✓ 田舎のロケーション等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 職員の負担感の増、待遇面</li> <li>✓ 職員数増加は但し人員不足</li> <li>✓ 委員会の形骸化</li> <li>✓ コミュニケーション不足(連絡回、部門間)</li> <li>✓ 運営次第の方針性</li> <li>✓ 上司の管理スリ・閉鎖</li> <li>✓ 運営の不足感</li> <li>✓ 運営→広報活動</li> <li>✓ 意思決定不足</li> <li>✓ 教育・研修受け入れ</li> <li>✓ 交通の不便</li> <li>✓ 施設・設備の老朽化</li> </ul>
機会	脅威
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高度医療に関連、域外からの集客</li> <li>✓ アルコール依存症・統合失調症治療、急性期から慢性期まで受入可能な体制</li> <li>✓ 認知症などの疾患が増加傾向</li> <li>✓ 遠隔支援が期待される</li> <li>✓ コト新業への取り組み余地</li> <li>✓ 人材確保への取り組み</li> <li>✓ REVICによる支援決定</li> <li>✓ 住民の高齢化→認知症患者の増</li> <li>✓ 近隣病院の減少(北上など)</li> <li>✓ 3次救急PJへ参入力が増えることに繋がる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高齢化(職員・住民)→業務が増加</li> <li>✓ 人口減少</li> <li>✓ REVIC推進後の体制</li> <li>✓ 集客人数増加促進</li> <li>✓ 行動制限の考え方</li> <li>✓ 患者受入れの確保、遠隔先の確保</li> <li>✓ 他院の確率評価変更</li> <li>✓ 稼働しづらさ</li> <li>✓ 職員の退職</li> <li>✓ 職員の新しい取組への抵抗感</li> </ul>

【ホスピタル坂東のSWOT分析】



【KJ法を用いた課題の洗い出し】

ホスピタル坂東ではこのようなプロジェクトチーム活動を通じた経営改善に対する取り組みについて、今後も継続して取り組むことでより良い病院であり、職員にとっても働きやすい職場となるべく活動を行ってまいります。

清風会グループでは引き続き、多くの患者さん、利用者さん、そしてその家族の方々への医療・介護福祉サービスを通じた貢献に努めて参ります。そして、何よりも清風会グループの職員がやりがいや信頼を持てる組織であり続けるべく努力して参ります。

清風会グループでは医療事業において身体合併症など内科、整形外科機能も併せ持つ精神科病院主体の「ホスピタル坂東」、介護事業では「老人保健施設寿桂苑」のほか、生活訓練施設である「吉泉苑」、訪問看護「愛心会」、障害者地域活動支援センター「煌」、ライフヘルプセンター「昇祐会」、複数の精神グループホームなど多くの事業を通じて皆様へ適切な医療、介護・福祉サービスが提供できるよう、引き続き活動してまいります。また、医療機関や介護施設、行政などとの医療連携活動も重視しており、適切な治療環境や介護・福祉サービスが行なえるようネットワークを構築しております。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。